

事業番号	事務事業名	奥津学区放課後児童クラブ施設整備事業費	所管課名	保健福祉課	令和 3 年度課長名	安道 智秋
01837	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	子育て支援係	担当者・シート作成者	木村 隆子
	施策名	16 子育て支援の充実	根拠法令等	鏡野町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例等		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 <small>(令和3年度~令和4年度)</small> <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・生涯学習課との協議 ・予算関係(国県補助金申請、実績報告、繰越事務、R4国県事前協議、起債資料作成等)	鏡野町女原地内の泉公民館の改築に伴い、奥津学区放課後児童クラブが併設されることとなり、令和3年度から令和4年度の2ヶ年で整備を行う。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度
ア 奥津学区・上齋原学区の小学生	ア 奥津小学校児童数	人	見込 実績			50 52	44	51
イ 奥津児童クラブ利用希望児童	イ 奥津児童クラブ利用希望児童数	人	見込 実績			15 17	20	20
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度
ア 老朽化した施設を立て替えることにより、安全で安心な放課後児童クラブの環境を提供する	ア 安全で安心な放課後児童クラブの環境が提供される見込みとなった児童数	人	目標 実績 達成率			15 17 113.3%	20	20 85.0%
イ 待機児童の解消	イ 定員を超過した児童数		目標 実績 達成率			0 2 #DIV/0!	0	0 #DIV/0!
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度
ア 補助金申請等	ア 補助金申請・実績等の回数	回	目標 実績 達成率			10 14 140.0%	10	#DIV/0!
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		01 款 03		項 02		目 01		01 大事業 中事業		05 08 予算上の事業名			事業番号
	一般会計		民生費		児童福祉費		児童福祉総務費		05 08		奥津学区放課後児童クラブ施設整備事業費			01837
予算(千円)	1年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度見込	5年度見込	前年比	決算(千円)	1年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度見込	5年度見込	前年比	
国庫支出金			13,660	8,406		13,660	国庫支出金			8,406	8,406		8,406	
県支出金			3,415	2,101		3,415	県支出金			2,101	2,101		2,101	
町債			17,200	10,000		17,200	町債			10,200	10,000		10,200	
その他特財							その他特財							
一般財源			1,368	3,299		1,368	一般財源			782	3,299		782	
合計			35,643	23,806		35,643	合計(A)			21,489	23,806		21,489	
財源名称	子ども・子育て支援整備交付金						従事正職員人数		1	1	1			
	岡山県社会福祉施設等整備費補助金						延べ業務事務時間		20	120	200		100	
							人件費計(千円)(B)		67	402	684		335	
	最終予算額		35,643千円		予算執行率		60.2%	トータルコスト(A+B)		67	21,891	24,490		21,824
主な支出事業内容(予算)	委託料					870千円	主な支出事業内容(決算)	委託料					0千円	
	工事請負費					34,773千円		工事請負費					21,490千円	

事業番号	01837	事務事業名	奥津学区放課後児童クラブ施設整備事業費	所管課名	保健福祉課
------	-------	-------	---------------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
共働き家庭の増加や改正児童福祉法により対象が小学6年生までに拡大されたこと等が要因となり、放課後児童クラブの利用希望児童数は年々増加している。待機児童対策として、これまで大野学区及び南学区放課後児童クラブの増築、香北学区放課後児童クラブの新規開所に取り組んできた。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
奥津学区放課後児童クラブは定員15名で、老人福祉施設を利用して運営を行っている。ここ数年は定員数を超える申請があり、児童の安全を確保しながら希望者全員を受け入れている。高齢者の福祉の増進を図ることが目的の施設であるため、行事がある場合は公民館を借りて保育を行っている。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
指導員からは、子ども達の安全のためにも児童クラブ専用の施設を整備してほしいと要望が上がっていた。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 理由説明 放課後児童健全育成事業は町が積極的に取り組むべき重点施策であり、施設整備により子育て家庭の多様なニーズに対応できるため、政策体系に結びつく。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せるとはできないか?)
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 理由説明 放課後児童クラブの拡充は、第2期鏡野町子ども・子育て支援事業計画にも重点施策として盛り込まれており、町が行うべき事業である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である 理由説明 奥津学区・上齋原学区における児童クラブ利用希望児童数の増加に対応するための事業であり、対象は妥当である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している 理由説明 施設整備後には、安定的な児童の受け入れと児童の安全確保が可能となり成果が向上する。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある 理由説明 廃止・休止した場合は、多数の待機児童が発生し、子育て家庭の支援の妨げとなる。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない 理由説明 待機児童問題の解消と児童の安全確保のためには、施設整備以外手段はない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由説明 施設整備のために必要な事業費であり削減はできない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由説明 事業実施にあたり、必要な業務であるため削減余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 理由説明 対象は奥津学区及び上齋原学区の小学生であり施設整備後は希望者が公平に利用できる。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果	② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																					
A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	本事業は、令和3年度～令和4年度の継続事業で、今年度60%、次年度で40%整備する予定であったが、土質不良により今年度分を年度内に行うことが困難となり、20%を繰り越すこととなった。生涯学習課の整備する泉公民館との複合施設であるため、国・県の補助及び町の予算の繰越に係る手続き等は、生涯学習課及び総務課と連携しながら事務処理を行った。施設整備後には、安定的な児童の受け入れと児童の安全確保が可能となり成果が向上する。																					
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	④ 担当課としての事業の方針																					
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 条例及び規則の改正、交付金等の事務処理を遅滞なく行うと共に、令和4年10月開所に向けて備品購入、職員体制整備等を行う。																					
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					